



国際ロータリー会長 李 東建
第2730地区ガバナー 安 満 良明

2008～2009年度 国際ロータリーのテーマ **夢をかたちに**

事務局・例会場	鹿児島東急イン	会 長	右田 省二
〒890-0053	鹿児島市中央町5-1-9F	会長エレクト	松田 泉
	TEL 090-5295-2736	幹 事	国師 博久
	FAX 099-251-5290	編 集	会報・広報委員会
例会日	毎週木曜日		12:30～13:30

Eメール kswrc@po5.synapse.ne.jp ホームページ <http://www2.synapse.ne.jp/swrc/>

Vol. 13-33

第560回例会 平成21年3月5日(木) プログラム「外部卓話 日本画家 駒井敏行様」

前回第559回例会[2月26日(木)]の報告 於：東急イン

【会長アドレス】会長 右田省二

皆さん目標を持っていらっしゃると思います。目標を持って生きることは、大事なことであることは誰でも知っています。しかし、目標を設定するだけで、良いのでしょうか。目指していた大学に入学した途端に勉強しなくなる大学生。大企業に就職した途端に気力が萎えて入社拒否に陥ってしまう新入社員。任期途中で職務を投げ出す政治家。一つの目標をクリアしたら、次の目標を設定しないからだと言いつつ指摘するのは簡単ですが、なぜ、次の目標を設定しないのでしょうか。

目標を設定するためには、「何のために」「誰のために」という目的がないと、行き詰ってしまいます。何のために目標にチャレンジするのか、上を目指すのかがハッキリしているからこそ、次なる目標を見出すことが容易にできるし、達成感や喜び、誇りも生まれるのです。目標と目的は違います。目的があるからこそ、その目的に向かって、いつまで、どこまで、どういう方法で行うかを、具体的に数値化したり、具体的な行動目標を設定したりできるのです。

目的を企業経営に当てはめると、経営理念や社是といわれるものになり、数値目標は経営計画や利益計画に反映し、行動目標は社訓や行動指針などにあたるでしょう。万一、企業が目的を見失ったら、その企業の存在意義そのものが揺らいでしまうのです。目的を見失い、目標だけに偏ってしまうと、気づいた時には無気力な状態や伸び悩むこととなります。それだけでなく、社会から淘汰されてしまいかねません。昨今の食品偽装問題の企業もこの例になることだと思います。企業の目的も「なぜ我が社は存在しているか」を問い続けることにほかなりません。この問いには正解というものはないかもしれませんが、問うこと自体に意義があると思います。企業経営においては「利益を上げる」という目標は絶対条件です。同時に「自社の存在意義」という目的を追求し続けることも、欠くことのできない絶対条件です。「目的」の元に「目標」を達成する喜びがあります。目標を設定し自己や自社の健全な成長を目指しましょう。

【会務報告】幹事 国師博久

- ① 会長エレクト研修セミナーが 3/7(土)8(日)ワールドコンベンションセンターにて行われます。松田会長エレクト出席予定。
- ② ライラ（青少年指導者養成研修会）が、4/18(土)19(日)桜島ユースホテルにて行われます。14～30 才までの研修生の推薦をお願いします。会員の参加も宜しくお願いします。ホストは鹿児島中央RC。登録は無料です。テーマ「今こそ、薩摩の郷中教育が生きる」2日目はクイーンズしろやま号で錦江湾での研修です。

【プログラム】

新会員卓話 前田由紀子君・梅木安子君



梅木安子君：吉野町にて家族で造園業をしている。3人の子供（一緒に仕事をしている長男35歳、独立した次男32歳、独身長女28歳）がおります。趣味は山登り、津軽三味線です。さわやかで温かいというクラブの印象を受けた。



前田由紀子君：人生は縁、だと思う。大学卒業後、秘書として働きその後結婚。午前9時から午後9時までダンスレッスンをしていた時期のおかげか舞台に出て色々

経験を積んだ。それから振付けの仕事を経て鹿児島に来て、本業は演出、振付けです。

《次回（第561回）例会のお知らせ》

日 時：H21年3月12日(木)

12:30～13:30

場 所：東急イン2F

プログラム：クラブ奉仕委員会担当

鹿児島サザンウインドロータリークラブ

2008～2009年度 クラブテーマ 「夢を語り、果たそう未来への責務」

【ニコニコBOX】

◆平田宗興君

- ・2月19日私たちの結婚記念日にすてきなお花有難うございました。
- ・昨日、総合格闘家菊野克紀後援会が開催されました。夢に向い一歩ずつ前進しています。応援宜しくお願いします。

《ニコニコBOX 累計額 ￥271,000-》

<「友」インターネット速報より>

◎ポリオ撲滅のドキュメンタリーがアカデミー賞候補に (2009年2月10日 NO.368)

国際ロータリーとビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団がポリオ撲滅に向けてさらに数億ドルの資金を追加すると発表した同じ週の1/22、短編ドキュメンタリー映画「The Final Inch」(時間 38分)が、アメリカ・アカデミー賞のドキュメンタリー短編部門にノミネートされました。

内容は、身体障害を招く病、ポリオを世界からなくそうという活動に密着したもので、グーグルの慈善事業部門からの依頼により制作されました。ポリオ撲滅の最終段階にさしかかって保健団体や諸国政府が次々に直面する問題を、克明に追っています。監督・制作を担当したイレーヌ・テイラー・ブロードスキー氏は、2007年、インドとパキスタンのスラム街で子どもたちに予防接種を行う人々の姿を撮影。4月22日にインドで行われた全国予防接種日の映像では、ボランティアとして働くロータリアンの姿も映し出されています。

ロータリーの先駆者 (日本編)

米山梅吉 (よねやまうめきち) (1868~1946)
日本のロータリーの創始者。よって、日本ロータリーの父「Father of Rotary in Japan」と称される。

1868年2月4日、大和国高取藩の和田氏の三男として東京に生まれ、父の死後、母の故郷の静岡県長泉(現米山梅吉記念館の所在地)に移り、中学生まで、ここで過ごす。1883年上京し、1887年、米山家に養子として入籍。同年渡米し、学問を修め1895年帰国後、三井銀行に入行した。

その後1918年の渡米中、ダラスロータリークラブ(RC)のロータリアンになっていた福島喜三次の紹介により、彼はロータリークラブと出合った。そして帰国後の1920年10月、米山梅吉は東京RCを創立し会長に就任した。幹事は福島喜三次。

これが、日本のロータリークラブの第一歩となった。その後、彼は1924-26年度国際ロータリー(RI)のスペシャル・コミッショナー、1926-27年度RI理事(日本人初)、1928-31年度第70地区(当時)ガバナーなどを歴任している。

文筆に優れた彼には、ロータリー関係の主な翻訳書に、ポール・ハリスが著した『ロータリーの創設者ポール・ハリス』、『ロータリーの理想と友愛』(原題は『This Rotarian Age』)がある。

また1952年、東京RCは彼の功績を記念し、日本で学ぶ外国人留学生に対して支援を行う「米山奨学制度」を構想した。(現在の「ロータリー米山記念奨学会」)彼は1946年4月28日、長泉にて逝去。お墓は記念館近くと横浜市の総持寺の2か所にある。

(ロータリージャパンより)



出席報告	会員数	出席数	出席率%
第559回2月26日(木)	56	35	62.50
第557回2月12日(木)訂正	56	49	87.50

市内他RCプログラム ★例会時間・場所等の変更			
月日曜	RC	プログラム	例会場
3月6日(金)	鹿児島RC	★職場訪問例会 西本願寺 鹿児島別院	山形屋
3月9日(月)	中央RC	会員卓話 石塚俊雄君「PETS報告」	山形屋
3月10日(火)	東南RC	PETS報告	ザロイヤルホテル
3月10日(火)	城西RC	PETS報告	東急イン
3月11日(水)	南RC	ゲスト卓話 鹿児島実業高等学校 指導監 久保克之氏	ザロイヤルホテル
3月11日(水)	西RC	クラブ協議会(PETS報告)	山形屋
3月11日(水)	西南RC	会長エレクト研修報告	ゆうづき
3月12日(木)	東RC	岐阜サンリバーRCとの合同例会のため3/13(金)18:30~サンデイズイン鹿児島に変更	山形屋
3月12日(木)	北RC	20周年記念事業全体会議及び委員会別会議	東急ホテル